

平成25年 藤枝市議会2月定例会

総務消防委員会委員長報告書

(議案審査)

平成25年3月1日

[本 会 議]

総務消防委員会に付託されました、議案3件の審査の経過と結果について、主な質疑を中心に御報告いたします。

最初に、第12号議案「平成24年度藤枝市一般会計補正予算（第5号）」のうち、本委員会に分割付託されました費目について、申し上げます。

初めに、歳入関係で、「1款2項1目 固定資産税について、家屋分が1億2,000万円の増額で、当初の見込み額と大きな差があるが、その理由を伺う。」という質疑があり、これに対して、「平成24年度は評価替えの年度であり、家屋の評価額を、当初は木造家屋で13%程度、非木造家屋で12%程度の下落で見込んだが、実際の評価額は見込み額を上回ったためである。」という答弁がありました。

次に、「21款 市債について、当初に予定しながら交付税措置のない借り入れについて、どの程度見送ることができたのか伺う。」という質疑があり、

これに対して、「今回の補正で、起債の借り入れを全体で3億3,570万円減額している。そのうち2億3,720万円については交付税措置のない起債であり、収入と支出の調整の中で、一般会計では全額見送ることができた。」という答弁がありました。

次に、歳出関係で、「2款1項3目 職員管理費の職員退職手当基金積立金を増額した理由を伺う。」という質疑があり、

これに対して、「平成24年度から平成33年度までの10年間の消防職員を除いた職員の定年退職者は237名を予定しており、その退職金の総合計が現在の試算で約62億円、1年あたり平均で約6億2,000万円が必要な財源となる。この額を基準額とし、本年度定年退職者へ支払う退職金との差額約7,700万円を、年度間の財政運営を平準化するため、基金へ積み足すものである。」という答弁がありました。

次に、「12款 公債費について、臨時財政対策債等の元利均等償還における利率の変更に伴う元金の増額があるが、どの程度の償還になるのか伺う。」という質疑があり、

これに対して、「今回の補正では、元金が171万9,000円増加している。利息については、1億2,000万円余の利子償還金の減額の中に一部、臨時財政対策債の利息も含まれている。」という答弁がありました。

以上のような審査を経て、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第15号議案「平成24年度藤枝市土地取得特別会計補正予算（第1号）」について、申し上げます。

質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

最後に、第17号議案「平成24年度藤枝市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）」に

ついて、申し上げます。

一委員より、「歳出 2 款 公債費について、償還元金の増額及び償還利子の減額の理由を伺う。」という質疑があり、

これに対して、「当初は、借入金 5, 0 0 0 万円、利息 3 % を見込んだが、実際には借入金 4, 0 1 0 万円、利息 0. 1 8 % で、利子に対する支払が約 1 3 0 万円減額となった。また、歳入で、駐車上使用料が約 2 2 0 万円増額となるなど、約 5 0 0 万円の財源ができたため、繰上償還を行うこととした。」という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。